

■ 宮本勝浩 関西大学名誉教授が推定 ■

2024年訪日外国人の消費総額は、約9兆6,891億円 ～ 2024年は観光立国への再出発の年になると想定 ～

このたび関西大学 宮本勝浩名誉教授が、2024年の訪日外国人の消費総額を計算したところ、約9兆6,891億円となりました。

宮本名誉教授は、「2024年は、訪日外国人の人数が約4,054万人、消費額は約9兆6,891億円という過去最多の数字になると予想されることは、新型コロナウイルスの影響で一旦頓挫したが、2024年が日本にとって長年に渡って目指してきた『観光立国』への再出発の年になると想定することができる」と述べています。

分析結果について、別紙資料にて紹介いたします。

【資料概要】

- テーマ 観光立国日本への再出発 ～ 2024年訪日観光客の旅行消費額の推計
- 発表者 関西大学名誉教授 宮本 勝浩
- 発表日 2024年9月13日（金）
- 内容 I. はじめに
II. 過去の訪日外国人の旅行消費額
III. 2024年の訪日外国人の消費額の予測値
IV. 2024年の訪日外国人の経済効果の予測値
V. まとめ

以上

※推計方法および分析結果の無断転載・無断転用の防止のため、ウェブサイトには詳細資料を掲載しておりません。報道機関でご入用の方は、関西大学広報課 (kouhou@ml.kandai.jp) まで資料請求くださいますようお願いいたします。

※分析結果からデータなどを引用される場合は、その旨付記してください。

※本発表は報道資料として発表しております。資料提供元との取り決め等により、報道機関以外の方への資料提供は行っておりませんので、ご了承くださいませようお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：明原、伊地知、小林

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-1131 Fax. 06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■ プロフィール <宮本 勝浩 (みやもと・かつひろ)>

【生年月日】	1945 (昭和 20) 年 1 月 12 日 (79 歳)	【本 籍】	和歌山県
【学 歴】	大阪大学 大学院経済学研究科修士課程修了 経済学博士 (神戸大学)		
【職 歴】	大阪府立大学経済学部教授、経済学部長、副学長歴任後、2006 年 4 月より関西大学大学院会計研究科教授。2015 年 3 月に定年退職し、現在は 関西大学名誉教授 。 この間、アメリカ合衆国インディアナ大学、ハーバード大学、上海同济大学、南京理工大学、ロシア極東国立商科大学などの客員研究員や客員教授を歴任		
【専門分野】	国際経済学 (移行経済論)、理論経済学、関西経済論、スポーツ経済学		
【著 書】	『大阪経済学』(共著) 経営書院、『移行経済の理論』中央経済社、 『経済効果ってなんだろう?』中央経済社 など		
【公 職】	(元) 財務省財政制度等審議会臨時委員、(元) 総務省情報通信行政・郵政行政審議会委員、 (元) 大阪広域水道企業団経営・事業評価委員会委員長、 公益財団法人大阪府市町村振興協会理事、公益信託泉州地域振興基金運営委員会委員長 など		
【賞 罰】	2019 年度和歌山県文化功労賞受賞、2021 年度和歌山市文化賞受賞		
【業 績】			
2005 年	「阪神優勝の経済効果」、「セパ交流戦の経済効果」等を発表		
2006 年	「2008 年大阪サミット誘致の経済効果」、「ディープインパクトの経済効果」等を発表		
2007 年	「世界陸上・大阪大会の経済効果」、「シャープの堺市への液晶工場進出の経済効果」等を発表		
2008 年	「東京原英夫自崎県知事就任後の宮崎県と東京知事の経済効果」、「くだおれ人形の経済波及効果」、「三毛猫たま駅長』の経済波及効果」等を発表		
2009 年	「WBC の経済波及効果」、「タバコ値上げの経済効果」、「奈良県桜井市の邪馬台国遺跡発見の経済波及効果」等を発表		
2010 年	「カナダ・バンクーバー五輪の日本における経済波及効果」、「奈良の大仏の建造費用」、「大阪マラソンの経済波及効果」、「USJ10 周年の経済波及効果」等を発表		
2011 年	「上野動物園のパンダ リーリーとシンシンの経済効果」、「東京ディズニーシー開園 10 周年の経済効果」等を発表		
2012 年	「大阪マラソンの経済波及効果の検証」、「天橋立世界文化遺産登録の経済波及効果」、「USJ 今後 10 年間の経済波及効果予測」、「第 24 回なご淀川花火大会の経済波及効果」等を発表		
2013 年	「あべのハルカスグランドオープンの経済波及効果」、「『街コン』の経済波及効果」、「東北楽天ゴールデンイーグルス優勝の経済波及効果」等を発表		
2014 年	「田中将大投手の Yankees 入団の経済波及効果」、「大阪道頓堀のグリコの新電光看板の経済波及効果」、「2014 年子どもが楽しんだものの経済波及効果」等を発表		
2015 年	「関西国際空港の LCC 就航による経済波及効果」、「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の経済波及効果」、「又吉直樹氏の『火花』の経済効果」等を発表		
2016 年	「ネコミクスの経済効果」、「四国八十八ヶ所お遍路さんの経済効果」、「平成 28 年夏の甲子園全国高校野球の経済効果」、「SMAP 解散で失われる経済効果」、「2016 年広島東洋カープ優勝の経済効果」等を発表		
2017 年	「2017 年 WBC 優勝の経済効果」、「第 89 回春の選抜高等学校野球大会の経済効果」、「稀勢の里の横綱昇進による経済効果」、「第 99 回夏の甲子園大会の経済効果」、「上野動物園パンダの赤ちゃん誕生の経済効果」、「2017 年広島カープ優勝の経済効果」等を発表		
2018 年	「せんとくんの経済効果」、「DMM かりゆし水族館の経済効果」、「日本のお花見の経済効果」、「第 10 回 AKB 総選挙 in 名古屋の経済効果」、「イニエスタ選手のヴィッセル神戸入団の経済効果」、「第 100 回夏の甲子園の経済効果」、「広島カープ優勝の経済効果」等を発表		
2019 年	「GW10 連休の経済効果」、「埋蔵携帯の総価値額 2019 年版」、「インフルエンザによるマイナスの経済効果」等を発表		
2020 年	「市民マラソン中止の経済的損失」、「新型コロナの影響により失われるお花見の経済効果」、「第 102 回夏の甲子園大会中止による経済的損失」、「祇園祭山鉦巡行中止による経済的損失」、「2020 年のプロ野球の経済的損失」、「請求書の電子化による経済効果」、「東京五輪の中止・延期・簡素化による経済的損失」等を発表		
2021 年	「東京五輪の無観客開催、海外観戦者制限による経済的損失」、「田中将大選手の日本球界復帰による経済効果」、「コロナ禍のネコミクスとイヌミクス」、「緊急事態宣言による GW の関西の観光業界の経済的損失」、「エンゼルス・大谷翔平選手の経済効果」、「埋蔵携帯の価値 2021」、「アスリートを称えるセールの経済効果」、「東京オリンピック・パラリンピックの経済効果と赤字額」、「2020 年新型コロナにより失われた訪日外国人の経済効果」、「オリックス優勝による経済効果」、「日本ハムファイターズ・新庄監督の経済効果」、「大谷翔平選手 MVP の経済効果」等を発表		
2022 年	「恵方巻きをはじめとする『節分の寿司』の経済効果と損失額」、「2022 年コロナ禍のネコミクス」、「2022 年お花見の経済効果」、「2022 年ゴールデンウィーク旅行の経済効果」、「東京スカイツリー 10 周年の経済効果」、「2022 年祇園祭の経済効果」、「日本経済活性化のカギ〜働く世代のビジョンの明確化」、「2022 年の大谷翔平選手の経済効果」、「2022 年度の市民マラソンの経済効果」、「2022 年『ぎふ信長まつり』の経済効果の検証」、「日本ハムファイターズ新球場の経済効果」、「2023 年初詣の経済効果」等を発表		
2023 年	「バレンタインのチョコレートの経済効果」、「2023WBC 優勝の経済効果」、「飛鳥ハーフマラソンの経済効果」、「2023 年のお花見の経済効果」、「G7 広島サミット 2023 の経済効果」、「2023 年祇園祭の経済効果」、「藤井聡太棋士が八冠を獲得した時の経済効果」、「女性の IT 人材増加による経済効果」、「埋蔵携帯の価値 2022」、「2023 年花火大会の経済効果」、「阪神タイガース 2023 年『アレ』の経済効果」、「2023 年日本シリーズ 関西ダービーの経済効果〜阪神対オリックス」、「山本由伸選手の大リーグ入団の経済効果」、「ドジャース移籍による 2024 年の大谷翔平選手の経済効果」等を発表		
2024 年	「2024 年の恵方巻き等の経済効果と食品ロス」、「2024 年のネコミクス」、「2024 年お花見の経済効果」、「2024 年ドジャースにおける大谷選手の経済効果」、「イベントの経済効果と成功・不成功の評価」、「2024 年祇園祭の経済効果」等を発表		